

ACTIVE TAKARAZUKA

宝塚市スポーツ振興計画

平成22年度(2010年度)～平成31年度(2019年度)



アクティブ宝塚



平成22年(2010年)4月

宝塚市教育委員会

目次

はじめに

第1章 計画策定の趣旨と概要

1 計画策定の背景と趣旨	1
2 「スポーツ」の定義とスポーツ振興の意義	2
3 計画の名称	3
4 計画の役割	3
5 計画の期間	3
6 計画の構成	4

第2章 宝塚市民のスポーツ実施の現状とニーズ

1 宝塚市スポーツ意識調査の概要	5
2 市民のスポーツ実施状況	6
3 市民のスポーツ実施意欲	14

第3章 計画の政策・行動・条件目標

1 スポーツ振興計画の概要	27
2 計画の政策目標と行動目標	28
3 行動目標達成のためのニーズ目標	29

第4章 計画の事業目標

1 基本施策体系	31
2 特別施策体系	32
3 基本施策事業の概要	33
4 特別施策事業の概要	54

第5章 計画の全体像と評価計画

1 計画の全体像	61
2 評価計画(縦断的評価)	61
3 評価計画(横断的評価)	61
4 種目別スポーツ実施率の将来像	62
5 「アクティブ宝塚」全体概要	63

資料

市民意識調査票	66
各事業内容詳細一覧	72
宝塚市スポーツ振興審議会等名簿	91
策定審議経過	92

※ 表紙のアクティブ宝塚のロゴマークは、宝塚大学造形芸術学部の川崎 秀雄さんの作品で、「宝」の字を走らせることによってアクティブな感じを表現し、宝の点の部分に矢印のようにすることでスピード感を表現しております。

はじめに



今日の社会を取り巻く環境の変化は著しいものがあります。少子・高齢化には拍車がかかり、市民意識の変化による価値観やライフスタイルの多様化、人間関係の希薄化等様々な問題を抱えております。こうした社会の変化に伴い、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しております。

スポーツは、それ自体が楽しみであり、健康の保持増進を導くとともに、人生をより豊かにし、充実したものにしてくれるものであり、人と人、地域と地域をつなぐ要素ともなると認識しております。

このため、市民のだれもがそれぞれの目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも運動やスポーツに取り組める環境づくりを推進する必要があります。また、市民が様々なライフステージにあったスポーツを気軽に楽しむことができ、それが地域のスポーツ活動として熟成することが豊かな地域社会を創造することとなると考えております。

本市では、平成7年(1995年)1月にスポーツ振興計画を策定しておりますが、すでに10余年が経過しています。国においても、子どもの体力向上、生涯スポーツ社会の実現に向けてスポーツ振興基本計画を見直し、改定したところであります。

このような状況に鑑み、これまでのスポーツ振興の取り組みを踏まえ、今後の社会経済環境や地域社会の変化を見据え、この多様な時代に則ったスポーツ振興の指針として、このたび新たな「宝塚市スポーツ振興計画(アクティブ宝塚)」を策定することとなりました。

今後は、「アクティブ宝塚」の名前のとおり、市民の皆様が運動・スポーツへの積極的なかわり(「する」、「みる」、「ささえる」)ができるよう、14の基本施策、10の特別施策とそれらを構成する76の事業を設定し、市民が個々の理想とするスポーツライフが活性化し、スポーツで人と未来が輝くまち「アクティブ宝塚」を実現できるよう、これまで以上に市民・スポーツ関係団体等と行政が協働してスポーツの振興に取り組んでいきたいと考えております。

最後に、本市のスポーツ振興計画の策定にあたりましては、多くの市民の皆様に関心をお持ちいただき、貴重なご意見を頂戴いたしましたことに心から感謝を申し上げます。

平成22年(2010年)4月

宝塚市教育長 伊達 達治